

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	2015長崎ベイサイドマラソン&ウオーク(マラソンの部)			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	長崎市	市民生活部・スポーツ振興課	塩塚 宣博	095-824-3728
事業期間	開始年	平成14年4月14日(14年目)		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日)平成27年11月14日 (完了日)平成27年11月15日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	長崎ベイサイドマラソン実行委員会		延壽寺 博亮	095-811-1893
	(委託内容) 大会の開催に係る企画・運営			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	参加者及び運営ボランティア		マラソンを通じて、市民の健康づくりの増進とスポーツ人口の底辺拡大に大きく寄与し、ボランティアスタッフや地域住民など、多くの市民イベントに参加することにより、地域活性化に大きく貢献する。 また、広く市外、県外からも多くの参加者を呼び込むことによる、市外参加者と市民との交流、宿泊や観光消費など地域経済の活性化にも繋げることを目的とする。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	1 開催日 平成27年11月14日(土)、15日(日) 2 会場 長崎水辺の森公園(受付・開会式・スタート・ゴール・閉会式) 3 種目 ハーフ(女神大橋を通過)、10km、2km ハーフ 男子 39歳以下、40歳代、50歳代、60歳以上 女子 39歳以下、40歳代、50歳代、60歳以上 10km 男子 39歳以下、40歳代、50歳代、60歳以上 女子 39歳以下、40歳代、50歳代、60歳以上 2km 男子 小学生低学年、小学生中学年、小学生高学年、中学生、39歳以下、40歳以上59歳以下、60歳以上 女子 小学生低学年、小学生中学年、小学生高学年、中学生、39歳以下、40歳以上59歳以下、60歳以上 親子 保護者と小学生 4 招待選手 谷川 真理、柳川 春己、谷川 義秀 5 企画 招待選手によるジュニアランニング教室、お楽しみ抽選会、平和のメッセージをゼッケンに記載、AED移動部隊出発式、長崎市消防局消防艇による放水、協賛各社出店、参加者特典(ゼッケン等掲示による各種施設入場料割引等)、参加者サービス(無料マッサージコーナー、軽食ふるまい)			

事業実績シート

	<p>6 総事業費 32,668,790 円</p> <p>【収入】長崎市負担金、参加費、協賛金、経費分担金、その他 33,146,386 円</p> <p>【支出】賃金、共済費、報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料・賃借料、負担金・補助及び交付金 32,668,790 円</p> <p>【差引残額】33,146,386 円－32,668,790 円＝477,596 円（長崎市に戻入）</p>
<p>事業開始の背景、これまでの経緯及び現状</p>	<p>(事業開始の背景)</p> <p>長崎市においてマラソンを開催し、広く市内外から多くの参加者を呼び込むことは、参加する人々の健康づくりの増進とスポーツ人口の底辺拡大に寄与し、地域経済の活性化にも繋がることから、マラソン及び魅力あるイベントを起爆剤として、スポーツの振興、市民のふれあい、観光・経済の活性化を図り、大会を成功に導くため、その推進母体となる「長崎ベイサイドマラソン&ウオーク実行委員会」を設立し、事業を開始することとした。</p>
	<p>(経緯・現状)</p> <p>第2回大会以降、毎年10月または11月に開催し、秋の風物詩となりつつあり、市内外から多くの参加者のもと開催している。</p> <p>第5回大会からは市内唯一のハーフマラソンを実施しており、女神大橋を渡るコースが大会の目玉となっている。</p>

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費（円）		16,759,078	16,779,386	16,522,404					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金		8,389,693	8,261,202					
	一般財源	16,759,078	8,389,693	8,261,202					
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	大会参加者数	大会に参加することにより、市民の健康づくりの増進とスポーツ人口の底辺拡大が図られるため			目標	4,300	4,300	4,300
						実績	4,199	4,080	4,051
						目標達成率(%)	97.7	94.9	94.2
	②					目標			
						実績			
					目標達成率(%)				

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需(+) 私益(-) 公益(+) 選択(-)
	(公益性) <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input checked="" type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価 妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		
		(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響ないよう、程度など) 市民のスポーツを実施する機会及び大会実施に伴う経済波及効果の減少	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		目標人数は下回ったものの、ほぼ例年どおりの参加者数であり、市民の健康づくりの増進等が図られた。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
	実施予定 期 日	28年度中	種目の追加・変更、コースの変更などは交通規制の実施に伴い、市民生活に多大な影響があるため困難であるが、招待選手によるイベントや参加者サービスなどについては、毎年見直し工夫している。	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない				
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		マラソンは大規模な交通規制を必要とするイベントであり、安全かつ円滑な大会運営のためには、行政が主体となって実施する必要がある。 民間活力の導入の面では、実行委員会・大会運営において、官民一体となって実施しており、また、民間企業には協賛を募っている。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
	<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		参加費については、他のマラソン大会と同等の金額であり、また、参加者数の減につながる恐れがあることから増額することは難しい。	

5 今後の方向性

必要性の点検から <small>実施(予定)時期</small>	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から <small>実施予定時期</small>	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
効率性の点検から <small>実施予定時期</small>	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
具体的内容	市民の健康づくりの増進、スポーツ人口の底辺拡大及び地域の活性化を図るため実施しているが、本事業を廃止した場合、市民のスポーツを実施する機会及び大会実施に伴う経済波及効果の減少につながることから、今後とも、イベントや参加者サービスなどを毎年工夫しつつ、安全かつ円滑な大会運営のため、行政が主体となり、民間活力を導入しながら実施していく。				